

～夏の暑さから避難！気軽にコープのお店でクールダウン～
7月15日(月・祝)から『まちのクールオアシス』実施
埼玉県内の22店舗を熱中症予防のために、一時休息所として地域の方に開放

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、7月15日（月・祝）～9月15日（日）までの期間、埼玉県内の22店舗を一時休息所として地域の方に開放し、熱中症予防のためにご利用いただく『まちのクールオアシス』を実施します。

『まちのクールオアシス』は、埼玉県と締結した「包括的連携協定※」の一環として埼玉県と県内企業が協力して取り組んでおり、今年で9年目を迎えます。コープみらいでは、高齢者や子供連れの方などが厳しい暑さから避難できるように、店舗を一時的な休息所として開放いたします。

※2011年7月、埼玉県と「包括的連携協定」を締結し、地産地消、子育て応援や地域福祉、環境保全、障がい者の自立支援など16分野で埼玉県と連携・協同して取り組んでいます。



『まちのクールオアシス』ポスター



一時休息所（イートインコーナー）※イメージ

●『まちのクールオアシス』概要

実施期間：7月15日（月・祝）～9月15日（日）

内 容：熱中症予防のため、下記22店舗を一時休息所として地域の方々に開放。熱中症予防を啓発するためのチラシを配布します。

対象店舗：埼玉県内の22店舗

コープ今泉店（上尾市）	コープニッ宮店（上尾市）	コープ武蔵藤沢店（入間市）
コープ桶川店（桶川市）	コープ春日部店（春日部市）	コープ高階店（川崎市）
コープ北本店（北本市）	コープ熊谷店（熊谷市）	コープ北越谷店（越谷市）
コープ東岩槻店（さいたま市岩槻区）	コープ上木崎店（さいたま市浦和区）	コープ指扇店（さいたま市西区）
コープ浦和東店（さいたま市緑区）	コープ大宮中川店（さいたま市見沼区）	コープ南浦和店（さいたま市南区）
コープ武蔵浦和店（さいたま市南区）	コープ狭山台店（狭山市）	コープ幸町店（志木市）
コープ新所沢店（所沢市）	コープ早稲田店（三郷市）	コープ深谷店（深谷市）
コープみずほ台店（富士見市）		



『SDGs』の目標3

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

※詳しくはこちら <https://sustainability.coopdeli.coop/>

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5

【総事業高】3,909億円（2018年度）

【理事長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【組合員数】350万人（2019年6月20日現在）

【ホームページ】<https://mirai.coopnet.or.jp/>